

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【職業科】

1. 対象 特別支援学校 高等部2年生

- ・全生徒が地域の中学校特別支援学級から入学してきた。
 - ・分かり方や学び方に差はあるものの、知的能力の実態差は狭く、全員が一斉指示を聞いて行動を理解したり、自分の考えをもって発言したりすることができる。
 - ・高等部2年生として3か月がたち、学級活動や他教科の学習において、意見を出し合って一つのことを決めたり、互いの思いを尊重し合って学習グループを組んだりすることができてきている。
 - ・授業開始のあいさつや友達同士の関わり方など、やり方やルールを示せば、互いに声を掛け合ってきたりよく取り組もうとすることができ、まとまりのある集団である。
 - ・職業科の学習では、高等部1年次に「働くこと」について友達と話し合ったり、4日間の短期実習を行ったりする活動を通して、仕事をすることで生計を維持するためだと理解することができた。
 - ・高等部2年生になり、6月の10日間の職場実習を通して、「働くこと」についての理解が深まり、単に生計を維持することだけでなく、自己実現を図ることや働くことで充実感や生きがいをもてること、自分が行った仕事は社会でどのように活かされているかなどを考え、さらに働く意欲が高まってきているところである。
 - ・先輩の実習激励会や報告会などを通して、どんな仕事は社会にあるかについては理解が進んできたところである。一方で、その職種の特徴(以下：◎仕事の要素)については理解できていない生徒が多い。
 - ・本単元では、職場実習を振り返りながら各職種の仕事の要素を友達と話し合う活動を通して、仕事の要素を理解し、自分に合った仕事を考え、将来の職業選択の一助となるようにしていきたい。
- ◎仕事の要素とは…立ち仕事、座り仕事、室内作業、室外作業、土日休み、シフト制
反復作業、臨機応変な作業、粗大作業、細かい作業、男性が多い、女性が多い
年代が近い人がいい、年代が離れている方がいい、休憩時間は一人がいい
人と関わる仕事(お客様なのか、休憩中の従業員となのか) などのこと

2. 単元名 「職種やその仕事の要素を知ろう」（全4時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・職場実習で体験した仕事の振り返りやグループワークを通して、各職種の仕事の要素を知ることができる。 (職業科1段階Aイ職業(ア)⑦職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能)
思考力, 判断力, 表現力等	・職場実習の経験を通して、自分の経験した職種の仕事の要素を考えたり、友達の職種についても考えたりすることができる。 (職業科1段階Aイ職業イ(イ)⑦作業や実習における役割を踏まえて、自己の成長や課題について考え、表現する)
学びに向かう力, 人間性等	・自分の経験した職種の仕事の要素を、ワークシートに書くことができる。 ・友達の経験した職種を話し合う活動を通して、興味のある職種をワークシートに書くことができる。

4. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い

本単元では、職場実習で実際に経験した仕事の要素を自分で考えたり(何について考え)、友達から意見をもらったりする活動を通して、自分の経験した仕事はどんな「仕事の要素」が含まれているか知ることができる。(どのようにまとめていくか)

生徒への提示：「職場実習で経験した仕事には、どんな「仕事の要素」がふくまれていたのだろうか。」

【年度終わりには自分に合った仕事(仕事の要素)はどんなものかにつなげていく。(職種選択へ)】

考えるための材料

※各教科等の特性に応じた物事を捉える視点や考え方(見方・考え方)を働かせて考えられる材料

- ・仕事の要素をまとめられるように、視点が整理できるワークシートを提示する。視点が特定なものにならないように自由記述の欄も設ける。

※解決したい課題を考えるために必要な資料、道具、教材

- ・職場実習先の写真や動画、実習日誌、実習評価表

想定される活動

- ・ワークシートを使うことで、生徒が自分自身の体験した仕事がどのような仕事の要素を持っているかを整理して考え(生徒がどのようなことを考え)、自分に合っている仕事だったのか、自分に合う仕事の要素はどのようなものか気づけるようにする。(どのようなことに気付くのか)

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

※グループワーク

グループ形態：3人～4人のグループで行う。

時間設定：各グループ、1人の仕事の要素を話し合う時間は20分程度とする。

留意事項：各職種がばらばらになるようにグループ編成する。

グループの生徒たちが考える仕事の要素を否定せず、肯定的に捉えていく。

※想定される対話や思考のプロセス

生徒によっては、友達の働いてきた仕事のイメージがもちづらい生徒もいることが考えられるため、職場実習中の写真を使って、仕事の説明をしたり、休憩時間の過ごし方なども話したりできるようにしておく。また、ICT機器を使ってワークシートを共有、入力できるようにすることで、グループの友達の意見も仕事の要素として取り入れられるようにしていく。

そうすることで、「確かにそんなことあった。」「そういう考え方もあるね」「それってこういうこと」などの新たな気づきも期待したい。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

学習を通して、自分だけでは分からなかった仕事の要素に気づいたり、友達の体験した仕事の要素を知ったりすることで、「こっちの仕事の方が自分に合っている。」「友達のその仕事ってどんな仕事か知りたい。」など更に職種について興味関心を高める機会としたい。

【年度終わりには、その仕事の要素が自分に合っているどうかを比較したりすることができるようにする。】